

令和5年(2023年)2月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2023年2月 数量 (トン)	2023年2月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。天候も安定し、太物の入荷が目立ちました。数量はかなり増加し、平均単価は前年並みで推移しました。	723	105	136%	99%
2		はくさい	茨城県産中心の入荷でした。前年が豊作だったため、数量は減少しました。寒冷が続くによる需要が強く、平均単価は高く推移しました。	616	69	85%	117%
3		きゅうり	宮崎県産中心の入荷でした。低温や干ばつの影響により、数量は減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	227	453	89%	107%
4		ほうれん草	順調な生育となり、数量は増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	83	510	114%	90%
5		馬鈴薯	北海道産中心の入荷でした。順調な入荷が続く、数量はかなり増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	417	138	126%	55%
6	果実	その他柑橘	冷え込みの影響で、ぽんかん、いよかん等の入荷が少なく、数量は減少しました。平均単価は高く推移しました。	555	354	86%	111%
7		りんご	前年が不作だったため、数量はかなり増加しました。平均単価は安く推移しました。	283	298	143%	86%
8		いちご	各品種ともに伸び悩み、数量はやや減少しました。平均単価は前年並みで推移しました。	132	1,658	93%	102%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上